

奈井江伝道所のイースター報告

主の御名を讃美いたします。

豪雪だった冬が終わり日の光が嬉しい春がきました。

今朝登校中の中学生の中にみずほクラブを作るきっかけを作ってくれた子供に会いました。

大きくなり声変わりもしていましたが、「教会に行きたいとは思っている」と言ってくれました。

今はコロナのために教会行事にお誘いのお手紙が書けないのです。

目下教会行事は教会員に連なる子供たちを中心に動いています。

コロナ後に皆で賛美できることを心より祈りつつその時を待ちたいと思います。

春一番の行事はイースターです。

今年は棕櫚の主日礼拝は指導教職の大倉薫牧師が来られました。

大倉薫牧師から幼児洗礼を授けて戴いた子供たちと一緒に記念写真を撮りました。

次の日曜日はイースターです。イースター礼拝は大人中心です。

午後にイースターの集いとして大倉薫牧師を交えて致しました。

今年のテーマは子ども自身で「イースターエッグを作ろう」です。

「ゆで卵にジョイフルエッグラップをかける」という作業です。

いつもは教会員が作っていますが今年は集いのテーマにしました。

挑戦してみると最初はきれいにエッグラップがかけられました。

暫くするとうまくいかなくなりました。どうしてなのかな？

よく考えてみたら、何度かエッグラップをかけているうちに

御湯の温度が下がったことが原因をとわかり、御湯の温度を変えて

再挑戦したらうまくできました。理科の実験のようなものです。

子供達の気付きが新しい行事の中身を豊かにしてくれました。

その後大倉薫牧師からイースターの話教会員も共にみずほホールで聴き

皆でそろって記念写真を撮りエッグラップをかけた卵などを袋に詰めた

お土産に戴き帰宅しました。

目下教会では祝会が出来ないので集いの在り方を模索中です。

